

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

作成 2024 年 3 月 5 日

研究課題名 (研究番号)	16SrRNA 遺伝子解析を用いた腔マイクロバイオーム検査と腔細菌培養検査の一致率に関する検討
当院の研究責任者 (所属)	銘苅桂子 (琉球大学病院 周産母子センター)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	該当なし
本研究の目的	腔マイクロバイオーム検査によって検出された菌種と腔培養検査によって検出された菌種、Nugent score について比較し、検出力に差がある菌の細菌学的特徴について、診療録から後方視的に検討します。
研究実施期間	研究機関の長の許可日(2024 年 3 月 13 日)～ 2024 年 12 月 31 日
調査データ(該当期間)	2019 年 4 月～2021 年 8 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さま 2019 年 4 月から 2021 年 8 月の間に当院で施行した円錐切除後患者の腔内細菌叢および妊娠転機についての前向きコホート研究に参加した症例において、妊娠初期に腔 MB 検査と腔細菌培養検査の検体を同時に採取し検査を行った症例●利用する情報 カルテ情報：BMI、喫煙歴、経妊回数、経産回数、流産既往の有無、早産既往の有無、円錐切除術既往の有無、検体採取時期の妊娠週数、腔 MB 検査で検出された菌種とその占有率、腔細菌培養検査で検出された菌種とその菌量、Nugent score、妊娠転帰（妊娠方法、出産方法、分娩適応、分娩週数、新生児情報、産科合併症）
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の研究機関への提供はありません。
試料・情報の二次利用	本研究は、2019 年 4 月から 2021 年 8 月の間に当院で施行した円錐切除後患者の腔内細菌叢および妊娠転機についての前向きコホート研究（研究課題名：子宮頸部円錐切除後妊娠における腔内細菌叢と流早産発生に関するマイクロバイオーム解析、承認番号：1182）で収集された情報を、新たな視点で解析したものです。 本研究で解析したデータを二次利用する予定はありません。

個人情報の取り扱い	調査により得られた研究対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化します。匿名化に用いる対応表は産婦人科医局内の施錠できる書庫で管理します。論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。
本研究の資金源 (利益相反)	研究責任者が所属する講座の奨学寄付金で実施します。 (この研究に関わるスタッフは所属機関の規定に従い、事前に審査を受け、問題となる利害関係が存在しないことを確認されています。)
お問い合わせ先	電話：098-895-3331（代表）産科婦人科外来（内線 1312） 担当者：琉球大学病院 産婦人科 玉那覇育子
備考	